

星野リゾート 株式会社星野リゾート

海外会計ソフトQuickBooksとkintone/Tableauをシームレスに連携

「星のや」ブランドで著名な株式会社星野リゾートは、宿泊施設の運営会社としての地位を海外でも確立すべく海外展開をスタート。すでに各国から多くのオファーが舞い込んでいる。

同社では、海外展開にあたりグローバルなホテル会計基準であるユニフォーム会計を採用することにした。これを実現するため、米国の会計ソフトQuickBooksを導入。現地ホテルシステムとQuickBooksのマッピング情報はkintone上に保持し、また経営レポートの生成はTableauで行うことにした。

現地のホテルシステム及びこれらのツールを連携するシステム開発が必要となり、プロジェクトがスタートした。



写真は台湾の「星のやグーグァン」

課題 1

短期開発の要請

業務システムはローカルルールで運用を開始するとリプレースには5-6年の歳月が必要となる。そのため、4ヶ月後にオープン予定の「星のやグーグァン」（台湾）開業までに連携システムを完成させることが求められた。

課題 2

不確実な連携仕様

ユニフォーム会計実現のための現地ホテルシステムと会計システムのQuickBooks連携仕様は手探りの状況。仕様変更の可能性が高いため外注化はできなかった。

課題 3

エンジニア工数ゼロ

社内エンジニアのリソースは顧客体験価値創造のための高度な開発に集中投与。インフラシステムの構築に社内エンジニアのリソースを使わないのが同社のポリシーであり、エンジニア抜きでの開発が求められた。

ASTERIA Warp Core導入効果

● QuickBooks x kintone/Tableau 連携の実現

kintoneなどの各種アダプターが提供されているだけでなく、QuickBooks用のJDBCドライバーを使うことにより、ノン・コーディングでQuickBooks・ホテルシステム・kintoneアプリ・Tableau間の連携を実現。

● スクラッチ開発の1/30の工数で期日前に完成

人件費の仕分け処理をスクラッチ開発の1/30の工数で完成するなど超高速開発を実現し「星のやグーグァン」のオープン1ヶ月前にシステムを完成。

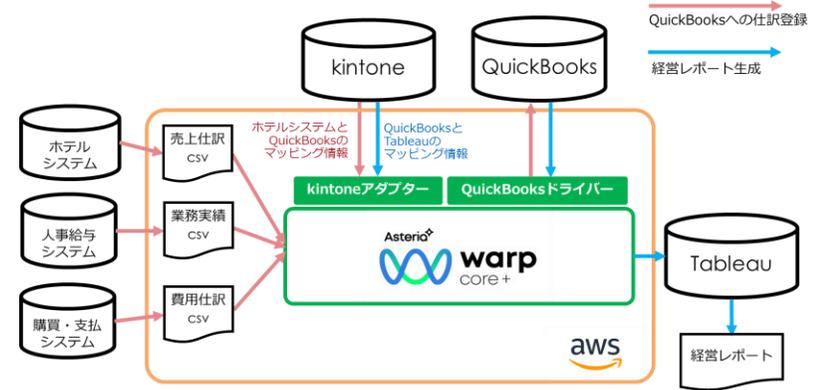
● エンジニア工数ゼロでの内製化

社内エンジニアのサポートを一切受けることなく担当者が独力で開発を遂行。社内エンジニア工数ゼロでの内製化を実現。

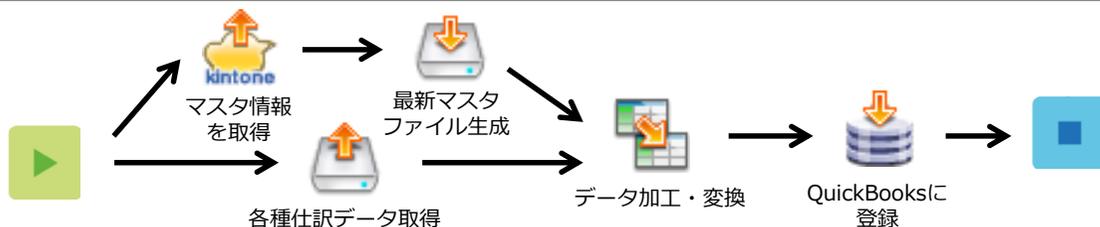
● 海外展開への迅速な対応

ASTERIA Warp Coreのメンテナンス性の高さにより、今後新たに開業するホテルについてはホテルシステムの差異部分修正にかかる工数（1-2人日）のみで開発作業が完了予定。

ASTERIA Warp Coreによる連携の概要



「QuickBooksへの仕訳登録」では例えばこんな処理をしています。



お客様から一言

ASTERIA Warp Core のココがGood!



グループ情報システムプロジェクトマネージャー
梶原 良介 様

ASTERIA Warp Coreのおかげで、プログラミング経験の全くない私でも、納期1ヶ月前に独力で連携システムを完成させることができました。

今後は人事・経理担当者にも利用を広げ、業務を最も理解している人が最適なシステムを自身の手で構築できるよう、サポートしていきたいと考えています。